

今年度の広報計画について

【仕事と生活の調和推進プロジェクトの趣旨】

- ①憲章及び行動指針において「国に求められる役割」とされた「国民運動を通じた社会的気運の醸成」のための事業
- ②社会的影響力のある、我が国を代表する企業10社に御協力いただいていることを最大限発揮
- ③参画企業における取組状況や成果を、事業主を始めとする国民全体に広くPRすることを通じ、仕事と生活の調和の実現に向けた社会的気運の醸成

1. 広報計画

(1) メニュー

- ・ビジネス誌へのリレー掲載（別紙1）
 - ・仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）講演会（別紙2）
 - ・番組放映（別紙3）
 - ・パンフレットによる広報
 - ・厚生労働省ホームページへの掲載
 - ・報道発表
- 等

2. テーマ分けについて

テーマ分けについては、各社から主として発表したい取組内容について希望を募ると共に、アクションプログラムの内容も考慮してテーマ分けし、各社、テーマをメインに広報を展開する。

【休暇の取得促進】

- 株式会社電通
- 鹿島建設株式会社

【メリハリのある働き方の実現】

- 株式会社日立製作所
- 株式会社大和証券グループ本社
- 全日本空輸株式会社
- キヤノン株式会社

【仕事と育児・介護の両立支援】

- 三井化学株式会社
- 日産自動車株式会社
- 株式会社高島屋
- 住友商事株式会社

3. スケジュール等（別紙4参照）

日経ビジネスへのリレー掲載

1. 概要

仕事と生活の調和の実現に向けた取組は、経営層の意識改革がまず重要との認識から、経営層の読むビジネス誌に、仕事と生活の調和に取り組むメリットや参画企業担当者による各社の取組等を経営トップの写真とともに掲載する。

2. 掲載雑誌

日経ビジネス

3. 掲載スケジュール（カッコは掲載予定号）

（第1回）

見開き2面の枠で、1面は第2回以降の各社の取組を提示するとともに、仕事と生活の調和推進の全体像、必要性等を掲載し、もう1面は佐藤座長と久保純子氏の対談を掲載する。

【第1回（10月5日号）】

（第2回～第11回）

参画企業各社の取組を担当者にインタビューする形で、テーマ毎に1ページずつ掲載。

●休暇の取得促進

【第2回（10月5日号）】株式会社電通

【第3回（10月12日号）】鹿島建設株式会社

●メリハリのある働き方の実現

【第4回（10月19日号）】株式会社日立製作所

【第5回（10月26日号）】株式会社大和証券グループ本社

【第6回（11月2日号）】全日本空輸株式会社

【第7回（11月9日号）】キャノン株式会社

●仕事と育児・介護の両立支援

【第8回（11月16日号）】三井化学株式会社

【第9回（11月23日号）】日産自動車株式会社

【第10回（11月30日号）】株式会社高島屋

【第11回（12月7日号）】住友商事株式会社

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）講演会

1. 概要

仕事と生活の調和の実現に向けた取組の必要性について、有識者及び参画企業の人事担当者等から直接的に訴求する場として開催。来客層には、各企業の人事担当者を訴求ターゲットとし、各企業の人事担当者の最も関心が高いテーマを入れ込みつつ、一般に向けては、仕事と生活の調和が個人の生活にどういった意識や価値観の変化をもたらすかをわかりやすく啓発する。

2. 日時・場所

<東京会場>

日時：平成21年12月7日（月） 13：30～16：30

場所：明治安田生命 MY PLAZA ホール（千代田区丸の内2-1-1 明治安田生命ビル）【約380名収容】

<大阪会場>

日時：平成21年12月9日（水） 13：30～16：30

場所：大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）（大阪府中央区大手前1丁目3番49号）【約500名収容】

3. 講演会構成案

■タイトル

いい仕事しよう。いい人生しよう。

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）講演会

■構成案

はじめに 主催者挨拶（5分）13：30～13：35

登壇者： 厚生労働省代表者

第一部 基調対談（40分）13：35～14：15

「仕事と生活の調和は日本を変えられるか」（変更の可能性あり）

登壇者： 【東京会場】佐藤博樹座長（東京大学社会科学研究所教授）

パク・ジョアン・スックチャ委員（アパシヨナータ、Inc. 代表）

【大阪会場】佐藤博樹座長（東京大学社会科学研究所教授）

武石恵美子委員（法政大学キャリアデザイン学部教授）

内容：日本における仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス、以下WLB）という基本的な考え方や動向に加え、少し先をいく「新時代における経営戦略としてのWLB」に触れていただき、聴き応

えのあるものとする。

休憩 (15分) 14:15~14:30

第二部 パネルディスカッション (120分) 14:30~16:30

「仕事と生活の調和で不況に勝つ」(変更の可能性あり)

コーディネーター: 久保純子氏(フリーアナウンサー)

パネリスト:

佐藤博樹座長(東京大学社会科学研究所教授)

【東京会場】キヤノン株式会社、住友商事株式会社、株式会社大和証券グループ本社、日産自動車株式会社、三井化学株式会社、株式会社CIJ(※)

【大阪会場】鹿島建設株式会社、全日本空輸株式会社、株式会社高島屋、株式会社日立製作所、ホルベイン工業株式会社(※)、株式会社ワールド(※)

※の企業については、下記(注)参照。

内容: 有識者と中央・地方参画企業の担当者によるパネルディスカッション。パネルディスカッションの聴衆のメインは、企業の人事担当者が想定されている。参画企業の取組み事例の紹介を中心に、様々な情報を時間内で効率的にバランスよく引出す事で、大企業だけではなく中小企業でも参考・実践できるような情報を提供する。

4. 集客方法及び開催後の周知方法

●集客方法

日経グループの力を生かし、幅広い周知を行い効果的に集客する。

- ・日本経済新聞、日経産業新聞、日経MJによる 半5段告知広告
- ・「日経ビジネス」のリレー掲載に告知スペースを設ける
- ・「日経ビジネスアソシエ」でも事前告知
- ・NIKKEI NET でも事前告知
- ・日経 goo ニュースメール 記事ヘッダ広告にて告知
- ・開催案内リーフ作成(関東・近畿地区労働局に配布後、労働局より各監督署・安定所・事業主団体へ配布)

●開催後の周知方法

- ・日本経済新聞 15段記事広告
- ・日経ビジネスアソシエ(1P)

- ・ NIKKEI NET
- ・ 本プロジェクトの番組放映の中で放送

(注) 地方参画企業について

【東京会場】

<株式会社 CIJ>

本 社 : 横浜市西区平沼 1-2-24 横浜 NT ビル
設立年月日 : 1976 年 (昭和 51 年) 1 月 7 日
従業員数 : 616 名
業 種 : システム開発業

【大阪会場】

<ホルベイン工業株式会社>

本 社 : 東大阪市上小阪 1 丁目 3 番 20 号
創 業 : 1900 年 (明治 33 年)
設立年月日 : 1946 年 (昭和 21 年) 10 月 11 日
従業員数 : 98 名
業 種 : その他の製造業 (油・水彩絵具、色鉛筆等)

<株式会社ワールド>

本 社 : 神戸市中央区港島中町 6 丁目 8 番 1 号
設立年月日 : 1959 年 (昭和 34 年) 1 月 13 日
従業員数 : 2,073 名 (2009 年 3 月末現在)
業 種 : 衣類小売業 (アパレル産業)

番組放映

1. 概要

仕事と生活の調和の実現に向けた取組を国民一般に周知するため、参画企業の取組等有識者のコメントを加えてテレビ放映する。

なお、打ち出し方については、仕事と生活の調和を推進することの意義、その際に工夫したことの好事例や推進する上での苦労話、実施した効果等、企業も労働者も共に良い効果をもたらす施策であることを打ち出した内容が展開できるように留意する。

2. 放送媒体

BS ジャパン（CM 無し 30分構成 1回、再放送 1回）、日経 CNBC（再放送 1回）

3. 放送期間

1月中旬～下旬 BS ジャパン（本番）…土日いずれかの午後（調整中）

BS ジャパン（再放送）…平日の金曜日の午後（調整中）

2月上旬～中旬 日経 CNBC（再放送）…土日（調整中）

4. 番組構成

出演者

●アナウンサー…久保純子氏

●コメンテーター…佐藤博樹座長、小室淑恵委員

<番組冒頭>

- ・フリーアナウンサーから、「仕事と生活の調和推進プロジェクト」についての紹介
- ・有識者から、仕事と生活の調和の必要性についての説明。

<番組本編>

各社の取組 VTR の紹介をテーマ別に行い、有識者のコメントを加える方式。

演出は、スタジオに巨大パネルを設置することで、視聴者の目を引く演出を採用（「アッコにおまかせ」風）

仕事と生活の調和推進プロジェクトについて

